

NEW

機械創造コース

ものづくりのプロセスを体系的に学び、最良な機械や装置を創造できるエンジニアを育成する



ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得するコースです。コンピュータを援用した設計(3D-CAD)、3Dプリンタやマシニングセンタなどの工作機械を利用し、ものづくりの一連のプロセスについて体系的に学ぶことができます。少人数によるアクティブラーニングをとおして学びを深め、現代の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を育てます。情報電子工学科との教育プログラムにより、情報通信技術 (ICT) などの知識を身につけることも可能です。

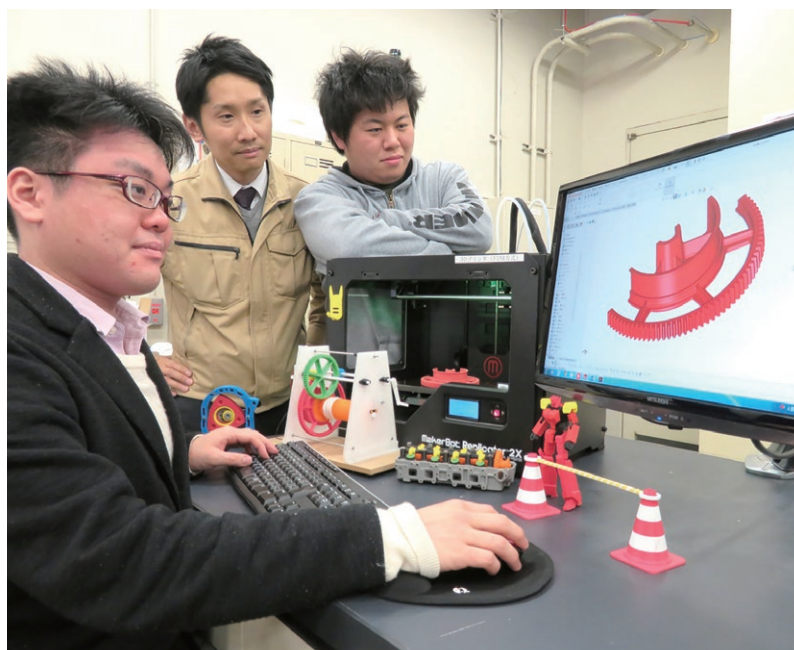
学びの分野 ▶ CAD活用工学 / 機構学 / ロボット工学 / 材料強度学 / 機械創造実習

学生の「つくりたい!」を実現する環境で、多くの体験を通じて「ものづくり」を学ぶ

機械工学の基礎をしっかりと身につけたうえで、CAD活用工学や機構学などの授業科目により、機械を設計・製造するために必要な専門知識と技術を学びます。体験を多く取り入れたカリキュラムで、ものづくりのトライ&エラーを重ね、機械の動作原理や構造を深く理解することができます。

将来的には

機械の設計・製造や保全等に携わり、ものづくりを中心とした現代の機械産業の諸問題や課題に取り組む、実行力のあるエンジニアとしての活躍が期待されます。



クローズアップ研究室 🔍



つくって試す実践的な取り組みで

実力あるエンジニアになろう!

空気圧が効率的に利用できる機構

メカニズム研究室

亀谷 裕敬 教授 [博士(工学)]

多くの機械は力を伝えながら動くことで、人の役に立つ仕事をします。無駄なく効率良く動いてこそ良い機械であり、それをめざした機構(メカニズム)を研究テーマとしています。アイデアを考えただけでは現実の機械になりません。理論はもちろんのこと、実際につくって試して機械を仕上げていきます。このような「ものづくり」に積極的に挑戦することで、誰でもエンジニアとして必須の経験を積み、機械に対する知識やセンスを養うことができます。本研究室では4年次になると研究課題を設定し、設計、製作、試運転による検証まで一貫した流れを経験します。これにより社会で活躍するのに必要な基礎力を培っています。